

支えあい、ともに生き、暮らせるまち

障がい者計画および

第3期障がい福祉計画を策定

市はこのほど、平成18年度に策定した障がい者計画、平成20年度に策定した第2期障がい福祉計画を見直し「八幡市障がい者計画および第3期障がい福祉計画」を策定しました。

国の法制度改革の動向をはじめ、市の障がい福祉を取り巻く現状や課題を踏まえ、本市における障がい者施策の基本指針としてまとめました。

から平成29年度までの6年間の障がい者の施策全般にわたる基本的な事項を定めています。

第3期障がい福祉計画は

障がい者自立支援法に基づき、平成26年度までの3年間の自立支援給付、地域生活支援事業等の各種福祉サービスに必要な見込み量とその提供体制について定めています。

計画の基本理念

①自立・自己決定の保障②



八幡支援学校と京都八幡高校の授業交流の様子

市職員の人事異動

市は4月1日付けで、職員160人の人事異動を行いました。課長級以上の異動は次のとおりです。

【部長職】

- ▽総務部長(危機管理監) 川裕子▽環境経済部参与 西脇居則▽福祉部長、福祉事務所長、教育部付部長 和田康弘▽健康部長 柏本修介▽消防長 長村敏弘

【部次長級】

- ▽政策推進部次長(政策推進課長事務取扱) 塚脇則之▽政策推進部次長(財政課長事務取扱) 足立善計▽総務部次長(契約検査課長事務取扱) 和田知二▽市民部次長(納税課長事務

市民委員を募集

行財政改革検討懇談会

市は、健全な行財政運営の確立を図り、将来のまちづくりを確かなものとするため、平成23年度を初年度とする、第5次行財政改革実施計画を平成23年4月に策定し、現在取り組みを進めています。実施計画の期間は3年間で、毎年改定していく予定です。

消火活動に協力

草薙純一さん、殺さんに感謝状 柿ヶ谷自治会を表彰

市消防本部は3月28日、八幡柿ヶ谷であった民家火災で消火活動に協力した草薙純一さん、草薙殺さんに感謝状を贈るとともに、柿ヶ谷自治会(橋本義久会長)に対し、その功績を表彰しました。



感謝状を受け取った草薙純一さん(右から2人目)ら

年。任期中、委員として年間1~2回、平日の昼間(半日)に開催予定の懇談会に出席していただきます。

- ▽応募方法 「八幡市における行財政改革について」をテーマにした800字以内の小論文に住所、氏名、生年月日、性別、電話番号を記入のうえ、(〒614-8501) 市役所(政策推進課)へ郵送または直接提出。 ※提出された小論文は返却できません。

火災・救急統計

消防本部 ☎981-4119

Table with 2 columns: 24年1月~3月累計 ()内3月分 and 昨年同期累計. Rows include fire incidents, emergency calls, and personnel movements.

この火災で住宅の2階約30㎡が焼けましたが、住宅用火災警報器が就寝中の住人に、いち早く火災を知らせたため、けが人はありませんでした。



どーも 市長の堀口です

市長に就任をさせていただき、はや2カ月が経ち、花の主役も桜から市の花さつきへと移りました。

石清水八幡宮を始めとする多くの文化遺産や三川合流域などを誇るまちの宝とし、市内外に八幡の魅力を発信し、「来たい見たい 住みたい」わがまち八幡を創りあげていきたいと考えております。

微力ですが、ふるさと八幡のために頑張ります。皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願ひします。